

# 通知票の見方について

北斗市立大野中学校

## 1 学習のようす

### その1 「評価」について

- (1) 学習方法や指導を改善するために評価を行います。  
 評価とは、生徒の自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを含めて学習状況を適切に判断することで、基礎・基本の定着に生かすために行うものです。
- (2) 評価の基本的な考え方は以下の通りです。  
 ①基礎的・基本的な学習内容の確実な定着 → 達成状況を見る評価（いわゆる絶対評価）  
 ②自ら学ぶ意欲や問題解決の能力、個性の伸長 → 個人内評価（良い点や可能性、進歩の状況の評価）  
 ③目標に準拠した評価は、目的に応じて指導が生かされます。（何を努力すれば、次のステップにつながるか）

### その2 「教科における評価」

- (1) 目標は、教科ごとに学習指導要領に示されている事項を基本としており、そこから教科ごとに評価の観点、評価の規準が設定されています。
- (2) 日常の評価を蓄積して、単元や教科ごとに「生徒の学習状況」をそれぞれの評価の観点の達成度に照らし、各教科における学習目標の達成状況について「A・B・C」の3段階で示しています。4つおよび5つの観点は同じ割合で評価して「評定」にしています。（※ABCの%には±5%幅があります）

観点別評価	評価規準達成率
「A」・・・十分満足できると判断されるもの	85%以上
「B」・・・おおむね満足できると判断されるもの	45%以上85%未満
「C」・・・努力を要すると判断されるもの	45%未満

- (3) 評価の場面・資料（例）は次のようなものです。（評価の場面・資料は教科・単元によって異なります）
- < 関心・意欲・態度 >  
 定期テスト・単元（小）テスト・授業の取組・ワークシート・ノート・課題・作品・評価シート・学習カードなど
  - < 思考・判断・感受・発想 >  
 定期テスト・単元（小）テスト・授業の取組・ワークシート・ノート・評価シートなど
  - < 技能・表現・処理 >  
 実技・課題・作品、定期テスト・単元（小）テスト・授業の取組・ワークシート・ノート・評価シートなど
  - < 知識・理解・鑑賞 >  
 定期テスト・単元（小）テスト・授業の取組・ワークシート・ノート・課題・作品・評価シート・学習カードなど
- (4) 単元や教材ごとの評価を総括して、学期の評価とします。（教科ごとに、この総括の基準を決めています）

### その3 評定の流れ

- (1) 教科の目標に照らして、その状況を総括的に評価し、次の基準で評定します。（表1）
- (2) 観点別の評価から学期末の評定を導きます。（表2-1、2-2）  
 （表1）

5	十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの
4	十分満足できると判断されるもの
3	おおむね満足できるもの
2	努力を要すると判断できるもの
1	努力を要すると判断できるもののうち、一層努力を要するもの

（表2-1）【○…妥当と判断される △…あり得る】

	5	4	3	2	1
AAA	○				
AAAB	△	○			
AAAC		○			
AABB		○			
AABC		△	○		
ABBB		△	○		
AACC			○		
ABBC			○		
BBBB			○		
ABCC			○	△	
BBBC			○	△	
ACCC				○	
BBCC				○	
BCCC				○	△
CCCC					○

- (3) 学年末の評定は1～3学期の観点別評価を総括して行います。  
 \*生徒には、授業の中や「シラバス」などを使用して評価の観点と評価方法について、説明しています。

## 2 道徳科の評価

一年間の学びから、内容項目にかかわって、どのように変容できたかを学年末に所見で表します。

## 3 総合的な学習の時間のようす

課題追究活動の内容とその評価を、文章表現することで、どのような力が身に付いたか（付こうとしているか）を評価しています。（2学期末に評価します）

(表2-2) 国語科の場合 (5 観点)

【○…妥当と判断される △…あり得る】

	5	4	3	2	1
AAAAA	○				
AAAAB	△	○			
AAAAC		○			
AAABB		○			
AAABC		△	○		
AABBB		△	○		
ABBBB			○		
BBBBB			○		
BBBBC			○		
BBBCC			△	○	
BBCCC				○	
BCCCC				△	○
CCCCC					○

**4 特別活動の記録**

前期（4月～9月）と後期（10月～3月）に分けて、学級の委員・係・部活動の活動の記録を記入しています。学習中心になりがちな中学校生活にあって重視したい活動の一つです。

**5 行動のようす**

学校生活における望ましい基本的な行動や生活習慣について10項目の観点から下のように評価しています。観点の項目をよく確かめ、今後の生活に生かしてください。内容に照らし、3段階で評価しています。評価にあたっては、学校生活での幅広い活動場面から一人一人の良さを認め、個性の伸長につながるように、担任だけでなく、多面的な評価をしています。

「○」・・・「優れている」

「(空欄)」・・・「おおむね満足している」

「△」・・・「努力・改善を要する」

項目	評価規準 (例)
基本的な生活習慣	●学校のきまりをきちんと守り、安全に留意して生活している ・清潔な服装に心がけ、不要なものを持ってこない ・さわやかなあいさつをし、教師や目上の人に対する言葉遣いがきちんとしている
健康・体力の向上	●体育の授業や体育的行事などに積極的に参加し、体力の向上に努めている ・遅刻や欠席、早退がなく、毎日元気に登校している ・手洗い、爪切りなど、衛生的習慣が身に付いている
自主・自律	●自ら考え、自ら行動する態度が身についている ・物事の正悪の判断ができ、自分自身をコントロールすることができる ・学習に対して目標を持ち、宿題や予習、復習などに積極的に取り組み、根気強く努力している
責任感	●学級内の係や委員会活動において、自分に与えられた役割を着実に果たすことができる ・自分が使用した道具や教材の後片付けをしっかりと行うことができる ・提出物の期限をきちんと守ることができる
創意工夫	●豊かな発想や柔軟な思考で課題解決を図ろうとすることができる ・さまざまな取組において、独創的なアイデアを提案することができる ・自分の興味や関心に基づいて課題を見つけ、意欲的に学習している
思いやり・協力	●いつでもだれとでも分け隔てなく、優しい気持ちで接することができる ・困っている人を必要に応じて手伝ったり、助けたりすることができる ・学級活動や生徒会活動において協力する態度が見られる
生命尊重・自然愛護	●相手の人権を尊重した言動を取ることができ、生命を軽視する発言はしない ・自然や環境に関心があり、動物や植物を大切にしている ・幼児や高齢者などにいたわりの気持ちをもって接することができる
勤労・奉仕	●清掃、給食、日直などの当番活動に積極的に取り組む ・小さなことにもよく気がつき、学級のために貢献しようとする ・家事や地域行事の手伝いをすすんで行っている
公正・公平	●自分の好き嫌いで相手を評価せず、誰とでも分け隔てなくつきあえる ・感情に流されることなく、物事を客観的に判断することができる ・正義感が強く、不正に対して強く立ち向かう姿勢をもっている
公共心・公德心	●授業における約束ごとやマナーを守って授業に参加することができる ・他人の迷惑になるような行動はせず、集団生活のマナーを守って行動している ・校内や公共の場、公共物を大切に扱うことができる

**5 出欠の記録**

◆授業日数・・・授業を行った日数

◆出席停止・忌引・・・感染症（インフルエンザなど）にかかって、登校しなかった日数  
※忌引や出席停止は、欠席にはなりません。

◆病欠・・・生徒本人の病気やケガ、通院による欠席日数です。

◆事故欠・・・御家庭の都合や地域行事への参加などによる欠席日数です。  
(スポーツ少年団などの試合参加もこれにあたります)◆遅刻・・・8:15までに校舎内に入ることができなかった回数です。  
(5分前および朝読書の指導をしていますので、8:10には登校できるように、御家庭でも指導をお願いします。)

※その他・・・通知票の発行は、每学期印刷をして発行します。

出欠記載は以下の通りです

1 学期  
4月～ 6月  
2 学期  
7月～11月  
学年末  
12月～ 3月